

教科名	区分	実施時期	時間数
建築概論	系基礎学科	1年次	20
《ねらい・到達目標》 木造以外の建築物の構造全般についての基礎知識を習得する。 《概要》 鉄筋コンクリート造及び鉄骨造の概略を学ぶ。			
授業内容			
1 各種構造 （１）建築物の概要 （２）鉄筋コンクリート造 （３）鉄骨造 2 試験			
教科書・参考書	建築Ⅲ（（株）旺文社）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績により評価する。		
備考			

教 科 名	区 分	実施時期	時間数
構造力学概論	系基礎学科	2 年次	40
《 ねらい・到達目標 》 構造力学の基礎を学び、建築物に働く力についての基礎知識を習得する。 《 概 要 》 構造力学の概略を学ぶ。			
授 業 内 容			
1 構造力学の基礎 （１）力のモーメント （２）荷重・外力 （３）反力 （４）応力 （５）たわみと座屈 2 試験			
教科書・参考書	建築Ⅲ（（株）旺文社）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績により評価する。		
備 考			

教科名	区分	実施時期	時間数
建築構造概論	系基礎学科	1 年次	70
《 ねらい・到達目標 》 木造建築物の構造全般についての知識を習得する。 《 概 要 》 基礎の構造及び木材に関する性質、接合方法、骨組みの構成を詳しく学ぶ。			
授 業 内 容			
1 在来軸組工法 （１）構造部の構成 （２）継手・仕口 （３）基礎 （４）軸組・床組・小屋組 （５）階段 （６）窓・出入口 2 試験			
教科書・参考書	建築Ⅱ（（財）職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績により評価する。		
備 考			

教 科 名	区 分	実施時期	時間数
建築計画概論	系基礎学科	1 年次	50
《 ねらい・到達目標 》 建築物内外の環境を学び、建築計画を行う基礎知識を習得する。 《 概 要 》 建築計画の概略を学ぶ。			
授 業 内 容			
1 建築計画 （１）建築計画 （２）住宅計画に関する基礎知識 （３）住宅計画の基礎 （４）住宅の全体計画 （５）各部の計画 2 試験			
教科書・参考書	建築Ⅳ（（財）職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績により評価する。		
備 考			

教 科 名	区 分	実施時期	時間数
建築生産概論	系基礎学科	1 年次	30
《 ねらい・到達目標 》 建築生産に係る知識を学ぶ 《 概 要 》 建築生産の歴史、特質、過程、関係者について学ぶ。			
授 業 内 容			
1 建築生産 （１）建築生産のあゆみ （２）建築生産の特質 （３）建築生産の過程 （４）建築生産の関係者 （５）現代の建築生産 2 試験			
教科書・参考書	建築生産概論（（財）職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績により評価する。		
備 考			

教科名	区分	実施時期	時間数
建築設備	系基礎学科	1・2年次	100
《ねらい・到達目標》 建築設備の基礎知識を習得する。 《概要》 建築設備の概略を学ぶ。			
授業内容			
1 建築設備 （1）換気設備 （2）暖房設備 （3）空気調和設備 （4）給排水・衛生設備 （5）電気設備 2 試験			
教科書・参考書	建築Ⅲ（（株）旺文社）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績により評価する。		
備考			

教 科 名	区 分	実施時期	時間数
測 量	系基礎学科	2 年次	20
《 ねらい・到達目標 》 測量に関する基礎知識及び設置方法を習得する。 《 概 要 》 測量について概略を学ぶ。 測量機器の使用法について学ぶ。			
授 業 内 容			
1 測量 （１）測量の誤差と精度 （２）距離測量 （３）水準測量 （４）トランシット測量 （５）面積・体積の測量 2 試験			
教科書・参考書	建築Ⅲ（（株）旺文社）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績により評価する。		
備 考			

教科名	区分	実施時期	時間数
建築製図	系基礎学科	1・2年次	120
《ねらい・到達目標》 建築製図についての知識を習得し、各種図面の作図方法を習得する。 《概要》 製図規約及び作図法を学び、住宅に関する図面を作図する。			
授業内容			
1 製図 （１）製図用具 （２）製図規約 （３）木造住宅図面 （４）製作課題図面 2 試験			
教科書・参考書	建築Ⅳ（（財）職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績及び課題及び授業への取り組み姿勢により評価する。		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
安全衛生	系基礎学科	1・2年次	30
《ねらい・到達目標》 安全作業に対する意識向上と方法を習得する。 《概要》 安全作業を学ぶ。			
授業内容			
1 安全作業法 （１）服装 （２）作業場の整理・整頓 （３）手工具作業・機械作業 （４）足場作業・高所作業 （５）建て方と屋根作業 2 試験			
教科書・参考書	建築Ⅴ（（株）旺文社）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績により評価する。		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
関係法規	系基礎学科	2年次	40
建築に関する法律についての基礎知識を習得する。 《 概 要 》 建築基準法及び関係法規を学ぶ。			
授 業 内 容			
1 建築基準法 （１）建築法規制の概要 （２）用語の定義 （３）用途制限・道路 （４）建ぺい率・容積率・高さの制限 （５）防火規定・耐火構造・準耐火構造・防火構造 （６）設備規定 （７）その他の一般規定 2 試験			
教科書・参考書	建築Ⅴ（（株）旺文社）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績により評価する。		
備 考			

教科名	区分	実施時期	時間数
木 質 構 造	専攻学科	2 年次	30
《 ねらい・到達目標 》 木造住宅内部仕上げ工事についての知識を習得する。 《 概 要 》 内部仕上げ工事について詳しく学ぶ。			
授 業 内 容			
1 内部仕上げ工事 （１）室内構造 （２）和風造作 2 試験			
教科書・参考書	建築Ⅱ（（財）職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績により評価する。		
備 考			

教 科 名	区 分	実施時期	時間数
材 料	専攻学科	1 年次	30
《 ねらい・到達目標 》 建築材料についての基礎知識を習得する。 《 概 要 》 各種建築材料の概略を学ぶ。			
授 業 内 容			
1 建築材料 （１）木材 （２）木質材料 （３）木質構造用金物 （４）セメント・コンクリート （５）金属 （６）ガラス及び粘土製品 （７）左官材料 （８）その他の材料 2 試験			
教科書・参考書	建築Ⅱ（（財）職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績により評価する。		
備 考			

教科名	区分	実施時期	時間数
規 矩 術	専攻学科	1 年次	40
《 ねらい・到達目標 》 規く術についての基礎知識を習得する。 《 概 要 》 勾配の付いた材料への墨付け方法を学ぶ。			
授 業 内 容			
1 規く術 （１）さしがね使用法 （２）勾配基本図 （３）棒隅木 （４）四方転び 2 試験			
教科書・参考書	建築Ⅰ（（財）職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績及び課題により評価する。		
備 考			

教科名	区分	実施時期	時間数
工 作 法	専攻学科	1 年次	40
《 ねらい・到達目標 》 手工具、木工機械、墨付けに必要な知識を習得する。 《 概 要 》 手工具、木工機械、墨付けを学ぶ。			
授 業 内 容			
1 工 作 法 （１）手工具 （２）電動工具 （３）木工機械 （４）墨付け （５）野地・壁下地 （６）床張り （７）造作材 （８）外回り 2 試験			
教科書・参考書	建築Ⅰ（（財）職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績により評価する。		
備 考			

教 科 名	区 分	実施時期	時間数
木造建築施工法	専攻学科	2 年次	40
《 ねらい・到達目標 》 建築現場に係わる各種工事の進行と作業内容についての知識を習得する。 《 概 要 》 各種工事について概略を学ぶ。			
授 業 内 容			
1 各種工事 （１）仮設工事 （２）基礎工事 （３）木造躯体工事 （４）屋根工事 （５）左官工事 （６）内外装工事 （７）建具工事 （８）断熱工事 2 試験			
教科書・参考書	建築Ⅰ（（財）職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績により評価する。		
備 考			

教科名	区分	実施時期	時間数
仕様及び積算	専攻学科	2年次	30
《ねらい・到達目標》 仕様及び積算と工事費の構成についての知識を習得する。 《概要》 仕様及び積算について概略を学ぶ。			
授業内容			
1 仕様及び積算 （１）仕様 （２）積算 2 試験			
教科書・参考書	建築Ⅱ（（財）職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績により評価する。		
備考			

教 科 名	区 分	実施時期	時間数
社 会	その他の学科	1・2年次	146
《 ねらい・到達目標 》 各種講話や就職指導を学び社会人としての自覚や心構えを身に付ける。 《 概 要 》 各種講話、就職指導、総合技能展見学。			
授 業 内 容			
1 社会 (1) オリエンテーション (2) 各種講話 (3) 就職指導 (4) 総合技能展見学 (5) 校長講話 (6) 見学会			
教科書・参考書			
使用機器			
成績評価の方法			
備 考			

教 科 名	区 分	実施時期	時間数
体 育	その他の学科	1・2年次	32
《ねらい・到達目標》 他のクラスとの親睦を深め、併せて体力の向上を図る。 《概 要》 レクリエーション。			
授 業 内 容			
1 レクリエーション 2 上棟式・竣工式			
教科書・参考書			
使用機器			
成績評価の方法			
備 考			

教 科 名	区 分	実施時期	時間数
機械操作基本実習	系基礎実技	1・2年次	120
《 ねらい・到達目標 》 電動工具及び木工機器の操作方法を習得する。 《 概 要 》 電動工具及び木工機器の操作方法を学ぶ。			
授 業 内 容			
1 機械使用法 （１）電動工具の使用法 （２）木工機械の使用法			
教科書・参考書	実技教科書（（財）職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢により評価する。		
備 考			

教 科 名	区 分	実施時期	時間数
測量基本実習	系基礎実技	2 年次	50
《 ねらい・到達目標 》 敷地測量及び水盛り遣り方の設置方法を習得する。 《 概 要 》 敷地測量及び水盛り遣り方の設置方法を学ぶ。			
授 業 内 容			
1 測量 （１）距離測量 （２）水準測量 （３）トランシット測量 （４）平板測量 （５）遣り方 2 試験 （１）測量機器設置			
教科書・参考書	建築Ⅲ（（株）旺文社）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績及び課題により評価する。		
備 考			

教 科 名	区 分	実施時期	時間数
安全衛生作業法	系基礎実技	1・2年次	150
《ねらい・到達目標》 安全作業に対する意識向上と方法を習得する。 《概 要》 実習時の安全作業法や衛生作業法を学ぶ。			
授 業 内 容			
1 安全作業法 （１）服装 （２）整理整頓 2 衛生作業法 （１）環境整備			
教科書・参考書	建築Ⅴ（（株）旺文社）		
使用機器			
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢により評価する。		
備 考			

教科名	区分	実施時期	時間数
器工具使用法	専攻実技	1・2年次	200
《ねらい・到達目標》 手工具の手入れ、使用法について習得する。 《概要》 手工具、電動工具、木工機械の手入れ、取り扱いを学ぶ。			
授業内容			
1 手工具の取り扱い 2 電動工具の取り扱い 3 木工機械の取り扱い			
教科書・参考書	実技教科書（（財）職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢により評価する。		
備考			

教科名	区分	実施時期	時間数
工 作 実 習	専攻実技	1 年次	220
《 ねらい・到達目標 》 課題を通じて木使い、墨付け、加工及び造作を習得する。 《 概 要 》 木使い、墨付け、加工及び造作を学ぶ。			
授 業 内 容			
1 工作実習 （１）継手、仕口 （２）課題製作 2 試験			
教科書・参考書	実技教科書（（財）職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績及び課題により評価する。		
備 考			

教科名	区分	実施時期	時間数
木造建築施工実習	専攻実技	1・2年次	794
《ねらい・到達目標》 1年次に縮尺した住宅の一部を作成する。2年次には実物大の木造住宅を協働して作成し、実際の納まりを習得する。 《概要》 木造住宅施工全般を学ぶ。			
授業内容			
1 木造建築施工実習 （1）課題製作（部分工作） （2）課題製作（模擬家屋） 2 試験			
教科書・参考書	実技教科書（（財）職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	試験成績及び課題により評価する。		
備考			

教 科 名	区 分	実施時期	時間数
規矩応用実習	その他の実技	1・2年次	330
《 ねらい・到達目標 》 技能検定課題製作を通じ、2級技能士レベルの技能を習得する。 《 概 要 》 技能検定課題を学ぶ。			
授 業 内 容			
1 技能検定課題 （１）現寸展開図 （２）木ごしらえ （３）墨付け、加工、組立 2 総合技能展課題製作			
教科書・参考書	建築Ⅰ（（財）職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢により評価する。		
備 考			

教 科 名	区 分	実施時期	時間数
インターンシップ	その他の実技	2 年次	80
《 ねらい・到達目標 》 実際の建築現場での訓練を通じ、建築に関してより一層の理解を深めるとともに、社会人としてのマナーや心構えを習得する。また、就職意識を高める。 《 概 要 》 実際の建築現場で施工を学ぶ。			
授 業 内 容			
教科書・参考書			
使用機器			
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢により評価する。		
備 考			

教 科 名	区 分	実施時期	時間数
C A D 操作実習	その他の実技	1・2 年次	80
《 ねらい・到達目標 》 パソコンの基本操作及びC A Dを用いた木造住宅図面入力を習得する。 《 概 要 》 C A D 操作について学ぶ。			
授 業 内 容			
1 O A 機器操作 (1) 基本操作 (2) C A D 入力			
教科書・参考書	やさしく学ぶ J W - C A D		
使 用 機 器			
成績評価の方法	課題により評価する。		
備 考			

教 科 名	区 分	実施時期	時間数
リフォーム技術	その他の実技	1 年次	180
《 ねらい・到達目標 》 リフォームに関する知識と技能を習得する。 《 概 要 》 リフォーム施工について学ぶ。			
授 業 内 容			
1 リフォーム実習 （１）手摺り下地施工 （２）床段差解消施工 （３）和洋室模様替え施工			
教科書・参考書	建築Ⅱ（（財）職業訓練教材研究会）		
使用機器			
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢により評価する。		
備 考			